

## 国内電信級陸上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法 規 12問 30分

法 規

〔1〕 無線局の予備免許が与えられるときに総務大臣から指定される事項はどれか。次のうちから選べ。

- 1 電波の型式及び周波数
- 2 免許の有効期間
- 3 通信の相手方及び通信事項
- 4 無線局の目的

〔4〕 無線従事者がその免許を取り消されることがあるのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 免許証を失ったとき。
- 2 日本の国籍を有しない者となったとき。
- 3 引き続き5年以上無線設備の操作を行わなかったとき。
- 4 電波法に違反したとき。

〔2〕 無線従事者がその免許証を総務大臣に返納しなければならないのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 免許証を失ったためにその再交付を受けた後失った免許証を発見したとき。
- 2 無線従事者の免許を受けてから5年を経過したとき。
- 3 無線通信の業務に従事することを停止されたとき。
- 4 5年以上無線設備の操作を行わなかったとき。

〔5〕 無線局の免許がその効力を失ったときは、免許人であった者は、その免許状をどうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 1箇月以内に総務大臣に返納する。
- 2 遅滞なく廃棄する。
- 3 3箇月以内に総務大臣に返納する。
- 4 2年間保管する。

〔3〕 総務大臣から臨時に電波の発射の停止の命令を受けた無線局は、その発射する電波の質を総務省令に適合するように措置したときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 電波の発射について総務大臣の許可を受ける。
- 2 直ちにその電波を発射する。
- 3 その旨を総務大臣に申し出る。
- 4 他の無線局の通信に混信を与えないことを確かめた後、電波を発射する。

〔6〕 固定局の免許状は、掲示を困難とするものを除き、どの箇所に掲げておかなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 受信装置のある場所の見やすい箇所
- 2 通信室内の見やすい箇所
- 3 無線局のある事務所の見やすい箇所
- 4 主たる送信装置のある場所の見やすい箇所

# 国内電信級陸上特殊無線技士試験問題

## 法 規

〔7〕 無線局を運用する場合においては、遭難通信を行う場合を除き、識別信号（呼出符号、呼出名称等という。）は、どの書類に記載されたところによらなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 無線局の免許の申請書の写し
- 2 無線局事項書の写し
- 3 免許状
- 4 免許証

〔8〕 一般通信方法における無線通信の原則として無線局運用規則に定める事項に該当するものはどれか。次のうちから選べ。

- 1 必要のない無線通信は、これを行ってはならない。
- 2 無線通信は、試験電波を発射した後でなければ行ってはならない。
- 3 無線通信は、長時間継続して行ってはならない。
- 4 無線通信を行う場合においては、略符号以外の用語を使用してはならない。

〔9〕 非常の場合の無線通信において、モールス無線通信により連絡を設定するための呼出しは、どのように行うか。次のうちから選べ。

- 1 呼出事項に「OSO」1回を前置して行う。
- 2 呼出事項に「OSO」3回を前置して行う。
- 3 呼出事項の次に「OSO」2回を送信して行う。
- 4 呼出事項の次に「OSO」3回を送信して行う。

〔10〕 和文のモールス無線通信において、「ラタ」を使用するのはどのような場合か。次のうちから選べ。

- 1 通報の送信が終わるとき。
- 2 通信が終了したとき。
- 3 周波数の変更を完了したとき。
- 4 通報がないことを通知しようとするとき。

〔11〕 モールス無線通信の手送りによる和文の通報の送信速度の標準は、1分間について何字と規定されているか。無線局運用規則の規定に照らし、次のうちから選べ。

- 1 85字
- 2 75字
- 3 60字
- 4 50字

〔12〕 次の記述は、秘密の保護について述べたものである。電波法の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

何人も法律に別段の定めがある場合を除くほか、 を傍受してその存在若しくは内容を漏らし、又はこれを窃用してはならない。

- 1 総務省令で定める周波数により行われる無線通信
- 2 特定の相手方に対して暗語により行われる無線通信
- 3 総務省令で定める周波数を使用して行われる暗語による無線通信
- 4 特定の相手方に対して行われる無線通信